

がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、
臨床検査技師及びがん登録実務者の研修実施要領

平成19年4月23日医政発第0423003号

厚生労働省医政局

がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、
臨床検査技師及びがん登録実務者の研修実施要領

1. 目的

わが国のがん対策の一環として、がん診療に従事する医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及びがん登録実務者に対し、高度の専門的知識及び技術を修得させ、専門職員の充実を図ることを目的とする。

2. 対象者

(1) 医師

がん診療に従事する者で、医師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(2) 看護師

がん診療に従事する者で、看護師の資格取得後5年以上の実務経験を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(3) 診療放射線技師

がん診療に従事する者で、診療放射線技師の資格取得後2年以上の実務経験を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(4) 臨床検査技師

がん診療に従事する者で、臨床検査技師の資格を有し、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

(5) がん登録実務者

院内がん登録及び地域がん登録の実務に従事する者で、研修実施施設が別に定める受講対象者の要件を備え、所属施設長又は研修実施施設長が推薦する者

3. 研修実施施設

国立がんセンター（中央） 東京都中央区築地5の1の1 電話 [03] (3542)2511

国立がんセンター（東） 千葉県柏市柏の葉6の5の1 電話 [04] (7133)1111

※研修は主として中央病院で実施するが、一部東病院で行うことがある。

（看護師及び放射線技師については一部の研修を東病院で行う。）

4. 研修定員・研修内容

職種別の研修定員、研修課程、研修内容は受講者の構成等を考慮して研修実施施設において別に定めるものとする。

5. 研修実施期間

研修実施期間については、研修実施施設において別に定めるものとする。

6. 各都道府県の推薦

都道府県は、研修実施施設が別に定める必要書類を作成し、受講者を推薦すること。

受講者の推薦にあたっては、各都道府県におけるがん診療施設の現状及び将来計画等を勘案し、研修効果が十分に期待できるよう配慮すると共に受講対象者の要件を備えているかどうか審査を行うこと。

なお、受講者の推薦締切期日については、別に定めるものとする。

7. 受講者の選定及び通知

各都道府県及び研修実施施設長より推薦された者のうちから決定し、都道府県又は研修実施施設長を通じて所属施設長及び受講者に通知する。

8. 経 費

受講料は無料とするが、受講地への旅費、滞在費等は受講者側の負担とする。

9. 宿泊施設

宿泊施設については、研修実施施設において斡旋しないので、受講者において選定すること。

10. その他

(携帯するもの)

【全職種共通】筆記用具、印鑑、保険証

【医師、看護師、診療放射線技師】白衣、フィルムバッジ

【臨床検査技師】12色鉛筆、白無地ノート

別記

平成19年度がん診療に従事する医師等研修「研修実施時期」及び「推薦締切期日」

職種	期間	19年 4	5	6	7	8	9	10	11	12	20年 1	2	3	備考
医師	3ヵ月					8月27日			11月22日		1月7日		3月28日	
看護師	講義研修 4日間							10月2日	5日					
	実地研修 3ヵ月							10月9日		12月28日	1月7日		3月28日	
診療放射線技師	1ヵ月							10月1日		11月2日				
	2週間							10月1日	12日					
臨床検査技師	3ヵ月							9月25日		12月21日	1月7日		3月28日	
がん登録実務者	1週間					8月27日	31日				1月21日	25日		
厚生労働省への 書類提出期日 (推薦締切期日)		第1回募集分 平成19年6月22日(金)必着									第2回募集分 平成19年10月19日(金) 必着			

※看護師のがん化学療法看護コースの実地研修を受講するためには講義研修を修了している必要がありますので、19年度に当該コースの実地研修を希望する場合は、必ず講義研修についても受講の申し込みをしてください。

(別紙)

研修内容

医師

実施施設	期間	研修人員	備考
国立がんセンター	第1回:3ヶ月	24人	
	第2回:3ヶ月	24人	

※それぞれの課程ごとに定員があるので参照すること。

研修課程	定員		受講対象者の要件	研修内容
	第1回	第2回		
国立がんセンター				
1. 消化器がん画像診断課程	2	2	画像による消化器がん診断を希望するもの	消化器がんをはじめとする諸種消化器がんのX線等診断、特に早期がん発見のための診断技術修得を目的とする。
2. 消化器がん内視鏡課程	1	1	内視鏡による消化器がん診断治療を希望するもので経験年数3年以上、35歳未満の者	消化器がんの内視鏡診断とその治療の修得、特に早期消化器がん発見のための診断技術修得を目的とする。
3. 病理組織診断課程	2	2	人の腫瘍の病理診断の研修を希望し、病理診断を専門とする者	消化管(胃、大腸等)、肝、胆、膵、頭頸部、呼吸器、乳腺、泌尿生殖器、造血臓器及びその他の臓器に発生する腫瘍の肉眼並びに組織学的診断を修得し、早期発見、早期治療に有益な知見の会得を目的とする。
4. 細胞診断課程	1	1	がん細胞を診断、治療に応用する者	各種臓器がんの細胞による診断に必要な知識と能力の修得を目的とする。
5. 肺がん診断課程	2	2	胸部内科、胸部外科、気管食道科等で胸部診断を希望する者	診断 X線読影、肺、気管支動脈造影、気管支ファイバースコープ、擦過細胞診等の技術修得を目的とする。
6. 子宮がん診断課程	1	1	婦人科医師	コルポスコピー、細胞診、組織診の三者を中心として研修を行い、子宮がん診断の向上を目的とする。
7. 外科的療法課程 胃 外科コース 大腸 外科コース 食道外科コース 肝臓外科コース 乳腺外科コース 胸部外科コース 泌尿器科コース 整形外科コース	1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1	総合病院の一般外科又は、専門外科を3年以上修練した外科医師	研修生の希望分野に従い、専門医をカウンターパートとして手術の見学、時として介助、討論会への参加および病棟におけるベッドサイドの実地研修を行う。
8. 放射線療法課程	1	1	放射線治療に関与する医師	放射線治療の実習、特に高エネルギー加速器及び密封小線源による治療技術、加温療法
9. 薬物療法(化学療法)課程	3	3	造血器腫瘍又は固形腫瘍の薬物療法骨髄移植等の臨床を行っている者	研修生の希望分野(造血器腫瘍、肺がん、消化器がん、乳がん、骨髄移植など)に従い、専門医をカウンターパートとして、薬物療法の臨床の実地研修を行う。
10. 頭頸部がん課程	1	1	頭頸部がん診療に従事する者	臨床に即応した討論を行い、当該領域診療の基本と特異性を理解せしめ、診療に参加させて実技の向上を目的とする。
11. 小児腫瘍(内科系)課程	1	1	小児がんの臨床を希望する者及び骨髄移植を行う希望のある者	小児がん一般の診療及び治療(特に骨髄移植、無菌室治療等)の技術を修得する。
12. 皮膚科腫瘍課程	1	1	皮膚科医師(原則として35歳未満の者)	皮膚がんの診断、手術及び抗がん剤治療等による集学的治療を研修する。
(12課程)	24	24		

研修内容

看護師

研修コース		期間	研修人員	備考
がん化学療法看護コース	講義研修	4日間	35人	
	実地研修： 外来化学療法	第1回：3ヶ月	2人	
		第2回：3ヶ月	2人	
	実地研修： 一般化学療法	第1回：3ヶ月	6人	
		第2回：3ヶ月	6人	
	造血幹細胞移植看護コース	実地研修	第1回：3ヶ月	2人
第2回：3ヶ月			2人	

研修課程		受講対象者の要件	研修内容
国立がんセンター がん化学療法看護コース	講義研修	1) 都道府県および地域がん診療連携拠点病院でがん診療に従事する看護師で、看護師資格取得後5年以上の実務経験を有する者 2) 受講する研修に関する分野の実務経験を3年以上有する者 3) 所属施設のがん看護において指導的立場にあり、研修後に施設内外の研修企画・実施やがん看護の実践に従事する者 上記1)～3)の要件を備え、所属施設長が推薦する者	がん化学療法の基礎的知識、臨床薬理学の基礎・薬剤情報の活用方法、抗がん剤の安全な取り扱い、代表的な副作用対策とセルフケア支援、抗がん剤の投与管理、レジメンのアセスメントとセルフケア支援、がん化学療法における意思決定支援とチーム医療、外来化学療法の実際
	実地研修	講義研修を受講していること	<ul style="list-style-type: none"> ・所属施設の研修企画や看護実践に関する課題の明確化 ・配置された部署内での実地研修 ・課題に対するまとめと報告
造血幹細胞移植看護コース	実地研修	1) 都道府県および地域がん診療連携拠点病院でがん診療に従事する看護師で、看護師資格取得後5年以上の実務経験を有する者 2) 受講する研修に関する分野の実務経験を3年以上有する者 3) 所属施設のがん看護において指導的立場にあり、研修後に施設内外の研修企画・実施やがん看護の実践に従事する者 上記1)～3)の要件を備え、所属施設長が推薦する者	<ul style="list-style-type: none"> ・所属施設の研修企画や看護実践に関する課題の明確化 ・配置された部署内での実地研修 ・課題に対するまとめと報告

研修内容

診療放射線技師

実施施設	期間	研修人員	備考
国立がんセンター	1ヶ月	9人	内訳 消化管 2人 CT 1人 MRI 1人 RI 2人 治療 3人
	2週間	15人	

研修課程	受講対象者の要件	研修内容
<p>国立がんセンター</p> <p>1. 1ヶ月課程(専門課程)</p> <p>(1)消化管</p> <p>(2)CT</p> <p>(3)MRI</p> <p>(4)RI</p> <p>(5)治療</p> <p>2. 2週間課程(一般課程)</p>	<p>診療放射線技師として、3年以上の実務経験を有し、下記設備のうち1つを有している施設又は設置しようとする施設に勤務している者</p> <p>(消化管検査装置)</p> <p>(CT検査装置)</p> <p>(MRI検査装置)</p> <p>(RI検査装置)</p> <p>(高エネルギー照射装置)</p> <p>診療放射線技師として、2年以上の実務経験を有し、高エネルギー放射線治療、がん検診、CT、MRI、RI検査等の設備がある施設又はこれから設備しようとする施設に勤務している者</p>	<p>実習を中心とし、専門技術修得を図る。</p> <p>消化器検査装置の操作方法及び胃撮影技術</p> <p>CT、MRI検査装置の操作方法および撮影技術</p> <p>動態検査、シンチカメラ及びPET CTの操作</p> <p>照射技術、測定技術、治療計画、装置の保守</p> <p>新しい知識及び基本的技術の修得を図る。次の講義及び技術の修得を行う。 ①放射線管理、放射線治療計画②消化管撮影技術、CT撮影技術、放射線照射技術、放射線測定法③RI検査、MRI検査、放射線設備等</p>

研修内容

臨床検査技師

実施施設	期間	研修人員	備考
国立がんセンター	第1回:3ヶ月	2人	
	第2回:3ヶ月	2人	

研修課程	受講対象者の要件	研修内容
国立がんセンター 1. 細胞診課程(3ヶ月) 2. 超音波検査課程(3ヶ月)	臨床検査技師免許取得後、3年以上臨床検査に従事し、なおかつ細胞診1年以上、又は病理及び血液検査2年以上の実務に従事している者 臨床検査技師免許取得後、3年以上臨床検査に従事し、なおかつ超音波検査を1年以上の実務に従事している者	実際の標本を見ながら教育 (1)細胞診に必要な固定、染色等の技術を修得する。 (2)相当数の細胞診標本を検鏡、スクリーニング出来るようにする。 実際に操作し教育 (1)超音波検査に必要な学術的知識、技術を修得させる。 (2)画像診断についてマスターする。

研修内容

がん登録実務者

実施施設	期間	研修人員	備考
国立がんセンター	第1回:1週間	20人	
	第2回:1週間	20人	

研修課程	受講対象者の要件	研修内容
国立がんセンター がん登録実務者課程	<p>次のいずれかの条件を満たし、がん登録の実務を担当する者、もしくはがん登録の管理者で実務内容を把握する必要がある者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. がん登録または病歴管理の実務経験が1年以上の者 2. 看護師、保健師の資格を持つ者 3. その他所属長が推薦する者 	<p>がん登録で必要とされる基礎知識と技術の習得を目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん登録に必要ながんの基礎知識 ・がん登録概論 ・がん登録の標準登録項目 ・国際疾病分類腫瘍学第3版 ・病期分類について:臨床進行度分類、UICC、TNM分類、取扱い規約について(主に主要5部位:胃癌、大腸癌、肝臓癌、肺癌、乳癌) ・コーディング演習(局在コード、形態コード、病期、その他の登録項目) ・がん登録における情報管理・利用について

受 講 者 調 査 書

〔 医師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、がん登録実務者 〕

(進達都道府県名：)

(研修実施施設名：国立がんセンター)

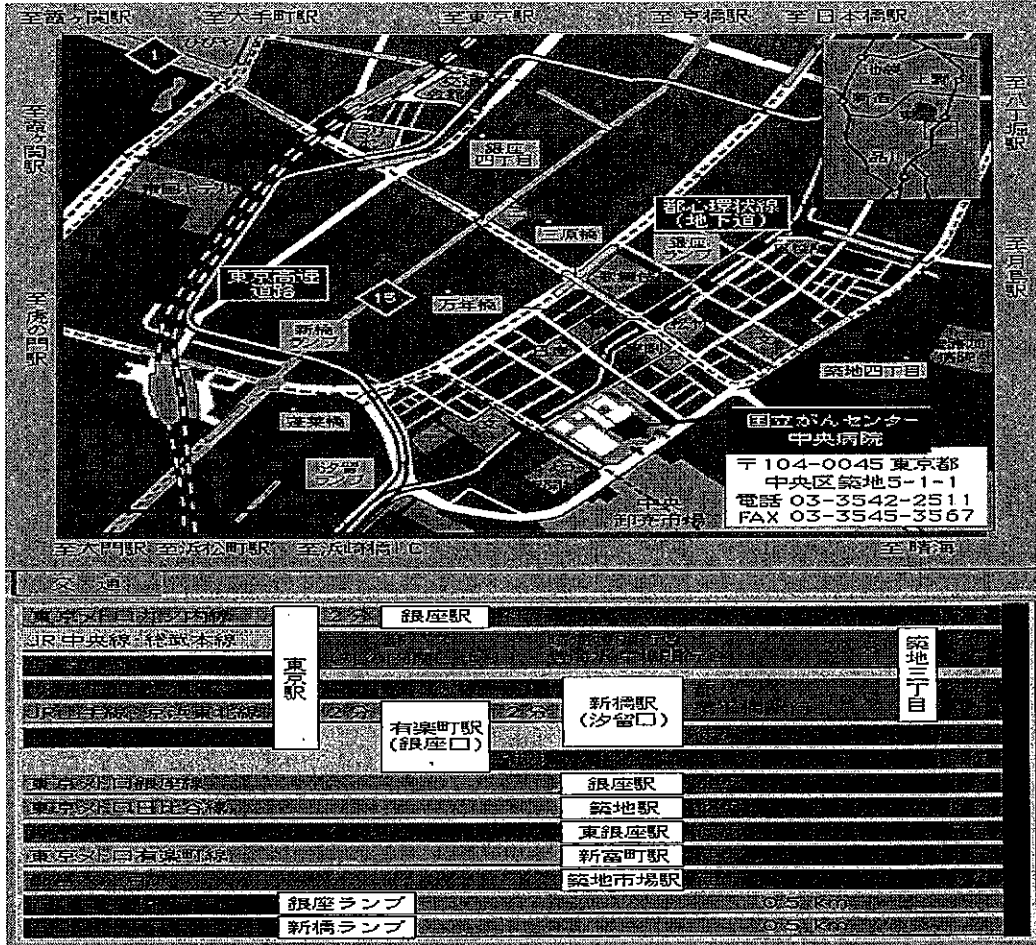
1	受 講 者 氏 名	(男 ・ 女)	
2	生 年 月 日	昭和 年 月 日 (満 歳)	
3	所 属 施 設	(1) 施 設 名	
		(2) 所 在 地	〒
		(3) 連 絡 先	TEL - - (内線)
4	従 事 職 務 内 容	現在の所属部署	
		従 事 職 名	
		具 体 的 な 職 務 内 容	(希望課程の経験及び関連機器の取扱経験等)
5	経験年数 (うち研修希望課程)	臨床 (従事) 経験 年 ヵ月 (年 ヵ月)	
6	卒 業	(1) 学 校 名	
		(2) 年 月 日	昭和・平成 年 月 日
7	免 許	(1) 番 号	第 号
		(2) 登 録 年 月 日	昭和・平成 年 月 日
8	受 講 希 望	(1) 受 講 施 設	
		(2) 研 修 課 程	
		(3) 受 講 時 期	
9	これまでに当該研修受講の有無	有 無 研 修 施 設 研 修 課 程	
10	都道府県の推薦優先順位		
11	都道府県の今回までの推薦回数		
12	添 付 資 料	(1) 所属施設長の推薦理由書 (施設長印のあるもの) (2) 履歴書 (写真貼付のこと) (3) 医師の場合は、希望研修課程を選んだ理由書	
13	備 考		

- 注 (1) 受講者調査及び添付資料は各2部 (原本) 提出すること。
(2) 該当する職種 [医師、看護師、…、がん登録実務者] に○印を付すこと。
(3) 「10、11」欄については都道府県が記入すること。
(4) 「11 都道府県の今回までの推薦回数」欄については受講申請したが受講決定をみなかった場合、その申請回数等を記入すること。
(5) 研修実施施設長推薦者については「10、11」欄は記入しないこと。
(6) 「12 添付資料」についてはA4版とするが、様式は特に定めないので適宜作成すること。
なお、履歴書の記載内容として取得資格及び研修会等の受講歴も記入すること。
(7) 医師以外の職種については希望する研修内容を「13 備考」欄に記入すること。
(8) 国立がんセンターの受講希望者は履歴書にカラー写真を貼付けること。
また、履歴書の氏名欄にローマ字綴りも併記すること。(名札作成のため)
(例) 鈴木太郎 T. SUZUKI

(参考)

研修実施施設案内

国立がんセンター



国立がんセンター東病院

